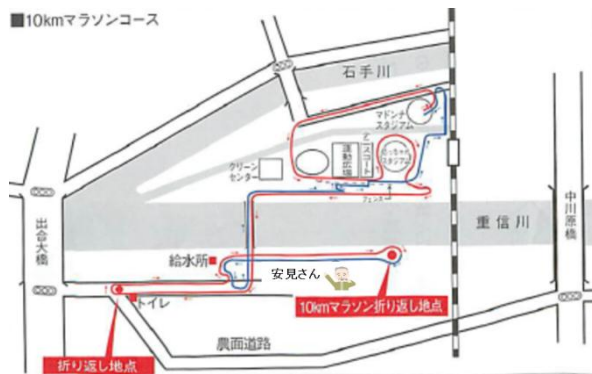


## 第 11 回坊ちゃんランランラン大会

右城猛

11月27日の日曜日に、「第11回坊ちゃんランランラン大会」が松山市であった。この大会は、金村毅先生が松山大学で教授をされていたときに立ち上げた「坊ちゃん一緒にらんランRUN大会」を引き継いだもの。これまでの大会と同様に、ハーフマラソンの部、10kmマラソンの部、イチワリマラソンの部がある。

第9回に続いて10kmマラソンの部に家内と一緒に出場した。



10km マラソンの部のコース



松山市中央松山中央公園の航空写真(Google)

10kmマラソンの部は、13時に石手川の横にあるマドンナスタジアム(サブ野球場)を出発し、坊ちゃんスタジアムの周りを回って重信川に架かる橋を渡り、左岸側の堤防を下流側に

走って出合大橋の手前で折り返し、再び堤防を上流に走り、橋の下を潜って河川敷をさらに上流に走ってJRの鉄道橋の手前で折り返し、重信川に架かる橋を渡ってマドンナスタジアムのスタート地点に帰るといったコース。平坦なのでとても走りやすい。

10kmマラソンの部の参加者は過去最高の1149人。ちなみに9時スタートのハーフマラソンは1935人、イチワリマラソンは631人、全体で過去最高の3715人であった。



マドンナスタジアムの観客席



マラソンのスタート地点で、ゴールにもなる。「スタート」と表示されたゲートの裏側は「ゴール」という表示になっている。



若い家族連れが結構多い。祐希(私達の初孫)が今年の3月に誕生してから、他人の子供も気になるようになった。ヨチヨチ歩きの子供がとても可愛い。母親の許しを得て写真を撮らせてもらった。



店長の真里さんとツーショット



吉本興業の「愛媛県に住みます芸人」の「モストデンジャラストリオ」



10km マラソン折り返し地点の手前。折り返し地点がある右側の先頭を走っているのが家内。その後方の6番目を走っているのが私。少し小さく見える。



諏訪恵治・真里夫妻は初参加。真里さんは、家内が通っている30分フィットネス「カーブス高知インター」の店長。



10km マラソン折り返し地点の手前を走る私。安見さんに話しかけている。



安見さんの声援で元気を回復する。家内を一気に追い抜いて、10km マラソンの折返し地点を回る。私の後方の7人目が家内。安見さんにパワーをもらって13人をごぼう抜きしたことになる。



私からかなり遅れて走る家内。



安見さんは野球場にも移動して応援をしてくれた。私の後を追って坊ちゃんスタジアムの横を必死で駆け抜ける家内。



安見さんがカメラを構えていたので必死にゴールする。タイムは1時間09分01秒。前回より6分03秒も縮めた。奇跡が起きた。



家内は1時間09分22秒でゴール。前回より9秒タイムを縮めた。



ゴールをしてから、安見さんと記念撮影。